

ブドウのような、ゴボウのような・・・



青南幼稚園の園庭の所々に、『ヨウシュヤマゴボウ』という草が生えてきます。種を蒔いたり苗を植えたりしたのではなく、どこからか種が飛んできて、いつの間にか地面に根を張っているのです。根は太く、葉は大きく、高さも2メートル近く高くなることもあります。6月頃から花が咲き始め、初秋に実が赤黒く熟します。見た目はブドウのようでかわいらしいですが、特に根の部分に毒があります。しかし口に入れば大丈夫です。子どもたちには、触った後に必ずよく手を洗うことや見付けたものをむやみに口に入れないことを伝えた上で、遊びの材料として取り入れています。



年長組と年中組が色水遊びに使っていました。アサガオやオシロイバナとはまた違った色合いです。裏庭でヨウシュヤマゴボウを見付け年長組は早速図鑑で調べ、「ヨウシュヤマゴボウだって」「ヨウシュヤマブドウでしょ?」「違うよ、ゴボウだよ」「どう見てもブドウだよ」「どっちも違って、ブルーベリーじゃない?」と、見た目と名前とのギャップをおもしろがっていました。